

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、京都府・市を中心に全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2021年5月21日（金）

18：30～19：30 事例発表

19：30～20：00 教育最新事情

プログラム Zoomを利用したオンライン開催

18：30～19：00 事例発表1

プログラミング的思考育成につながる算数科の取り組み(仮)
木村 祐太（京都市立総合教育センター）

19：00～19：30 事例発表2

中学1年生における教科横断的学習～比例・反比例と地震～
藤本 卓也（京都教育大学附属京都小中学校 教諭）

19：30～20：00 教育最新事情

学習者の視点に立ったオンライン授業設計に向けて
黒田 恭史（京都教育大学教育学部数学科 教授）

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 **定員100名**

申込先

URL(QRコード)にアクセスして
お申し込みください。 **申込締切：5月12日**

<https://forms.gle/jYWGuktRKAux6UId9>



問い合わせ

黒田恭史（京都教育大学）
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※第11回以降の発表者も、随時受け付けておりますのでご連絡ください。

第10回

「これからの算数・数学教育を考える会」